

省エネ住宅は住み心地もよい住まい。 提案します。地球にやさしい住まい。



写真提供: (株)ノースエネット

太陽光の利用 (太陽光発電)

太陽の光エネルギーを吸収して電気にかえる発電システム。3~4KWのシステムを設置すれば、平均的な4人家庭の電気の大部分をまかなうことができます。



太陽熱の利用

太陽からの熱を利用することで、温水を作ったり、床から室内を温めたりするシステムです。天気の良い日には約40~60℃の温水が得られます。



写真提供: OMソーラー協会

窓

複層ガラスと断熱タイプのサッシを組み合わせれば、断熱性能が大幅にアップ。結露や冬場のすきま風の防止になります。



写真提供: (株)えねい建設

冷暖房 (エアコン)

冷房の約8倍ものエネルギーがかかる冬の暖房。そんな暖房設備の中でもエアコンは省エネ性能の高い機器の一つです。購入する際には、COP (エネルギー消費効率) 数値の高いものを選びましょう。



夏の日差し対策

夏に外から入ってくる熱の約70%は窓からです。よしずやブラインドなどを活用し、夏の強い日差しの浸入をカットすることが大切なポイントです。



写真提供: (株)えねい建設

給湯設備 (家庭用ガスエンジン・コージェネレーションシステム)

例えば家庭用ガスエンジン・コージェネレーションシステムのエコウィル。ガスを使って発電と給湯・暖房を同時に行えるので、省エネ効果が高く光熱費も節約できます。



写真提供: 静岡ガス (株)

壁

外壁と屋根などの断熱性能を高めると、冬に室内の熱が逃げていく、夏に屋外の熱が入りにくくなるので、冷暖房の効きがよくなります。また、結露の防止にもなります。



写真提供: (株)建築工房わたなべ

(写真は充填断熱工法の例)

風通し

自然の風を上手に利用することにより、夏場の体感温度を下げ、快適で冷房エネルギー消費をおさえることが可能な住まいになります。



高効率家電製品

家庭の電気は、エアコン・冷蔵庫・照明に多く使われています。買い替えの際には統一省エネラベルなどを参考にし、省エネ性能のよいものを選ぶようにしましょう。



統一省エネラベル

住まい方の工夫

【結露】

- ①壁に荷物・家具を密着させない
- ②昼間に窓や戸をあけて、風通しをよくする

【カビ】

- ③風呂からあがるときに、窓をあけるか換気扇をつける
- ④風呂からあがるときに、タイルの水気をぬぐう

【風通し】

- ⑤窓を遮っている植生を切る
- ⑥在宅時はのれんを設置して、玄関を開けておく

【寒さ】

- ⑦窓に厚手のカーテンをしたり、断熱シートを貼る
- ⑧サッシの傾きを補正したり、補修テープを貼ることで、すきまをふさぐ

【暑さ】

- ⑨家の西・南面につる性植物の日よけをつくる
- ⑩打ち水をする

※その他にもいろいろな工夫があります。詳しく知りたい方は静岡県地球温暖化防止活動推進センター (裏面の連絡先) までご連絡ください。



※このイラストは省エネ住宅をわかりやすく表示するためのカットモデルです。実際は立地条件等により異なります。